

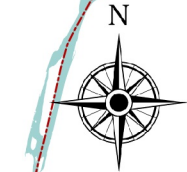
木曽川水系東川 洪水浸水想定区域図(計画規模)

1 説明文

- (1)この図は、木曽川水系東川の岐阜県管理区間について、水防法の規定に準じた手法により計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2)この洪水浸水想定区域図は、公表時点の東川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率 $1/5$ (毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が $1/5$ (20.0%)の降雨に伴う洪水により杭瀬川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

- (1)作成主体 岐阜県大垣土木事務所
岐阜県揖斐土木事務所
- (2)公表年月日 平成31年3月29日
- (3)対象となる河川
・木曽川水系東川(実施区間)
 揖斐郡池田町六之井地先から
 揖斐郡池田町市橋地先(杭瀬川合流点)まで
- (4)算出の前提となる降雨 杭瀬川流域の1日間総雨量 173mm
- (5)関係市町村 大垣市、神戸町、池田町
- (6)その他の計算条件等
①この図は、木曽川水系東川の岐阜県管理区間で破堤等した場合の洪水浸水想定区域図を图示しています。
②この図は、東川の(3)に記載した区間において、一定の条件で破堤等させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。



位置図

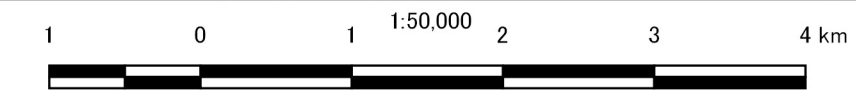


凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 20.0m以上
- 10.0m～20.0m未満
- 5.0m～10.0m未満
- 3.0m～5.0m
- 0.5m～3.0m
- 0.5m未満

- 市町村境界
- 浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川
- 鉄道



注)この図面は岐阜県共有空間データを使用しています。

岐阜県大垣土木事務所
岐阜県揖斐土木事務所